

もつと

地域と密着した

子育てへ



子どもたちの体験活動として毎年おなじみとなっていた「てしかが冒険隊アドベンチャーツーリング」今年主権が町教育委員会から弟子屈町未来子ども協議会に移り「元気いっぱい！僕らの旅(アドベンチャーツーリング)」として開催されました8月4～10日にかけて行われた活動の様子を写真とともに振り返ります

子どもたちの健やかな成長のために

家庭・学校・地域で人間力を育てたい

子どもたちが「人間力」を兼ね備えた大人に成長すること。そして、その力を発揮して地域づくりを担うこと。つまり人づくりは地域づくり。そういった観点から、町では青少年健全育成事業を通して、さまざまな体験活動や集団活動の場を子どもたちに提供しています。子どもたちの健やかな成長のお手伝いを少しでもできたら...という思いからです。

そしてもう一つ目指してきたのが、家庭と学校、地域が一体となった子育てです。特に「地域」での子育てについては近年、青少年健全育成



地域での子育てを

事業を弟子屈町未来子ども協議会(目黒厚子会長)と連携・協力して進めてきたほか、自主的に支援してくださる方が増えてくるなど、うれしい変化が見られるようになってきました。今年さらには一歩踏み込んで、同会主催、町教育委員会の後援でアドベンチャーツーリングを開催しました。

地域での子育ての受け皿・窓口として

皆さんは、弟子屈町未来子ども協議会をご存じですか。

同会は2006年10月1日設立で、現在の会員は約25人。子育て世代のお父さん・お母さん、子育てが一段落ついたおじいちゃん・おばあちゃん、保育士や元保育士、元教師、保健師などで構成され、子どもたちの健やかな成長を地域として支えるために、さまざまな活動を行っています。具体的には、体験活動の企画・運営のほか、子どもが関わるイベントでのお茶のサービスなどです。

同会では随時、会員を募集しています。申し込み資格は特にありませんので、お気軽にお問い合わせください。

子どもたちが誇りに思い、たくましく育つ

私たちが誇りに思い、たくましく育つことを願って、子どもと関わりたいという思いで集まりました。世代も職種もさまざまな会員が集まっていますが、子どもにとって楽しく、ためになることを考えてやってみよう、そして活動を通して大人も一緒に成長していきたいと願っています。目指すのは、町の子どもたちのいろいろな活動を支える窓口。「支援部(子育て支援など)」「事業部(子どもたちの体験活動の主体)」「広報部(活動の周知)」の3つの部会があり、それぞれの活動のほか、毎月第3月曜日に例会を行っています。

弟子屈は自然に恵まれ、空気と水がおいしい素晴らしいところ。ここでお子らかに育つ子どもたちもまた素晴らしいので、ふるさとの良さは当たり前になり過ぎて、あらためて感じることはないかもしれない。環境に恵まれ過ぎて、たくましさには少し欠けるかもしれない。そういった子どもたちに、私たち大人が関わって共にさまざまな体験活動を行う中で、何か「気づき」をプレゼントしてあげられたらうれしいと思っています。この夏のアドベンチャーツーリングは、私たちにとっても大きな活動となりました。子どもたちにもふるさとを誇りに思ってもらいたい、強くたくましく育ってほしいと、部会を超えて活動を応援しました。戻ってきた子どもたちの笑顔がとてもすてきで、今後も続けていきたいと思っています。



弟子屈町未来子ども協議会 会長 目黒厚子さん



疲れてたって自分のご飯と寝床は自分で確保(8/6)

S Lに目もくれず疾走(8/6)

スタッフに見守られながら(8/6)



本日のミッション 能取岬での記念撮影(8/7)



暑さにもめげずに快調(8/7)



うれしい日陰(8/7)



網走から津別へ(8/8)



みんなで協力して作ったご飯はおいしいね(8/7)



走り疲れた体で夕飯作り(8/7)



炭も自分たちでおこす(8/7)



冷たい水で体を冷やしてもう一踏ん張り(8/9)



スタートして4日目の朝食時 胸によぎるのは…(8/9)



旅先に届いた家族からの手紙(8/8)



川湯の足湯で一休み(8/10)



雨の中 津別峠から和琴半島へ(8/9)



ずぶ濡れてたどり着いた津別峠(8/9)



家族を迎える中 笑顔でゴール(8/10)



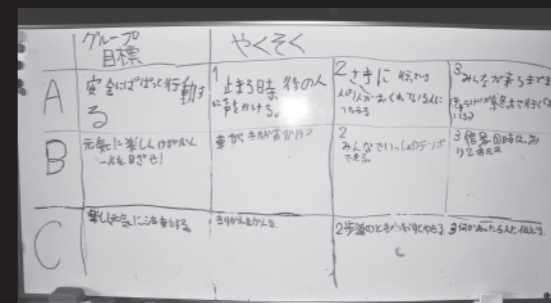
アイスで栄養補給「僕のも食べてみな」(8/10)



仲間と
走った
300 km



道の駅摩周温泉での出発式 この後バスで常呂町へ(8/5)



自分たちで決めた目標と約束(8/4)



事前準備で道具をチェック(8/4)



いよいよツーリングスタート 元気に北見市常呂町を出発(8/6)

「元気いっぱい！僕らの旅(アドベンチャーツーリング)」が、8月4～10日にかけて網走地方を中心に行われました。日常から少し離れた活動や集団行動を通じて、たくましく生きる力や自己肯定感を培ってもらうことが目的です。今年は町内の小学校1～5年生と、東日本大震災の影響で宮城県から避難してきた児童合わせて14人が参加したほか、これまでにアドベンチャーツーリングに参加したことのある中学生もサポートスタッフとして同行しました。事前準備と活動場所への移動を経て、6日に北見市常呂町を出発。テント泊を続けながら能取岬(網走市)、津別峠、和琴半島などを巡り、5日間で約300kmを走破しました。

※この活動は「宝くじコミュニティ助成事業」の助成を受けて行われました。

